



ぴよぴよ通信

手指の発達について

令和7年度 No.2

隈之城保育園 乳児保育担当

<手指の発達を促す動作は日常の生活や遊びの中に！>

◎どのようなことを意識すれば良いのか？

なるべく子どもに任せてみる！

大人が何でもやってしまわず、子どもに任せることが大切です。

子どもは興味のある大好きな大人の真似をしたがる傾向があるので、大人が目の前でやって見せたり少しサポートしたりして一緒にやってみるといいでしょう。子どもが真似をしたがった時がチャンスです。

● 絵本を読む

(本のページをめくる)



● 靴の面ファスナーを剥がしたり付けてたりする



● 野菜をちぎるなど、食事の準備を一緒にする



● 服を自分で選ぶ



● 手づかみで食べる(つかむ、口に入れる)



● 服のボタンを留める



5ヶ月頃

1歳頃

1歳5ヶ月頃

2歳頃

3歳頃

手指の発達の目安

- ガラガラを握る(2ヶ月～)
- 物に手を伸ばす(3ヶ月～)
- 積み木を両手に持つ(5ヶ月～)



- 人差し指と親指で物をつまむ(10ヶ月～)
 - 指先の動きが細やかになり、小さな物をつまめるようになります。
- なぐり描きをする(11ヶ月～)



- 積み木を2個積む(1歳3ヶ月～)
- スpoonを使う(1歳4ヶ月～)
- スコップで砂をくってバケツに入れる
 - スコップを順手でしっかりと握り、砂をくうことができるようになります。バケツという目標を目で確認しながら、そこに砂を入れる為には目と手を協応させながら動かす必要があります。



- シールを貼る(2歳2ヶ月～)
 - 親指、人差し指、中指の3本の指で物をつまめるようになります。指先にも力が入るので、はさみを使ったりボタンを留めたりといった動作もできるようになります。

- 丸を描けるようになってくる



★生活は習慣として毎日繰り返されるもので、子どもにとって大好きな大人たちが関わっているものです。その生活の中には、手指の発達を促す動作がたくさんあります。日常の何げない動作を子どもに任せたり一緒に取り組んだりしてみて下さいね。